

# 事例紹介「アカデミックコモンズの魅力を伝える PV 制作」

川 端 奈津子（関西学院大学 理工学部 1 年生）

## 1. はじめに

私は、理工学部情報科学科 1 回生の川端奈津子と申します。それでは、今から「アカデミックコモンズの魅力を伝える PV 制作」と題しまして、私がこの春からアカデミックコモンズで行なっている活動について紹介させていただきます。

まず、活動内容をお話する前に、活動団体についてお話ししたいと思います。私は ACE という団体に所属しています。この団体のおもしろいところは、アカデミックコモンズで開催されたイベントに、たまたま偶然参加したメンバーで設立したということです。この偶然の出会いから発足した団体なので、偶然の出会いを大切にしようという意味を込めて、A chance encounter の頭文字をとって ACE と名づけました。ACE の代表は、本日一緒に発表をしてもらう塩月英美と樋口奈央で、アカデミックコモンズをよりよく使っていくために、さまざまな使い方を見せる活動を行なっています。

## 2. 映像制作で表現する思い

まず、今年の春学期に作成したプロモーションビデオのショートバージョンをご覧ください。このプロモーションビデオは、アカデミックコモンズ内のサイネージといいます電子掲示板にて放送させていただいております。また、ACE のツイッターのアカウントで、ユーチューブの URL を配信するなどもしています。

プロモーションビデオの見せ方はいろいろあると思うのですが、なぜ私たちがこの映像制作にこだわったかといいますと、理由は 3 つあります。

まず 1 つ目は、楽しく伝えることができるということです。映像はさまざまな使い方ができるので、ポスターなどよりもより楽しく伝えることができると考えました。2 つ目は、イベントを開催する団体はたくさんありますが、イベント終了後の報告が難しいということもあり、私たちがイベント取材して、映像にまとめることによって、報告のかわりとする役割も担っております。また、3 つ目に、コモンズを利用する全ての人がこの映像に関わる人になりますので、より内容を身近に感じてもらい、映像を見ていただきたいと思い、この 3 つの理由から映像をつくることにしました。

## 3. 映像制作を通じて感じたアカデミックコモンズの魅力

映像制作を通じて感じたアカデミックコモンズの魅力について、紹介させていただきたいと思

います。まず、アカデミックコモンズが、みんなで集まることができる場所になっているということです。アカデミックコモンズでは、図書館では実現が難しい、みんなで楽しく話しをしながら活動ができるので、ディスカッションが必要な活動をする場合は、学生にとって本当に必要な場所だと思います。次に、おしゃれなカフェや最新の電子機器があり、また電子機器は無料で借りることができます。例えば、手のひらサイズのプロジェクターやスクリーン、スピーカー、プリンターなども使うことができますので、私たちは効率的に勉強したり、活動したりすることができます。

しかし、アカデミックコモンズの魅力はこれだけではありません。物質的な恩恵以上のものを、私たちはこのアカデミックコモンズで得ることができると感じました。それは、プロモーションビデオの制作に当たりまして、幾つかの団体のイベントやミーティングを取材させていただく中で感じたことですが、本当に学生一人一人が生き生きとして活動しているということです。ここでは仲間がいたり、新しい発見があったり、さまざまな経験ができたり、新しい学びがあったりと、本当に充実しています。このようなことがあるからこそ、学生が輝いているのではと思います。これらは全て出会いから出発していることだと思います。私たちはこれからも、映像を通して出会いがあふれるアカデミックコモンズの魅力を伝えていきたいと思っています。

#### 4. 映像制作をする意義

なぜACEの活動をするのか、改めて映像制作をする過程で私たちは考えました。私たちの活動内容は、みんなでアカデミックコモンズをよりよく使うための活動だと最初に申し上げました。みんなでよりよく使うというのは、2つの意味で捉えられると思います。まず1つ目は、さまざまな活用ができるこのアカデミックコモンズを、みんながどのように使っていくかを考えるということ。2つ目は、このすばらしいアカデミックコモンズを使わせていただいているということに感謝して大切に使うということです。私たちは、アカデミックコモンズの活用方法を伝える活動と、みんなでアカデミックコモンズを大切に使うと呼びかける活動、この2つの活動をしていきたいと思っています。

ACEの特徴は、アカデミックコモンズをよりよく使うための活動だということと、偶然の出会いを大切にすることです。実際に私たちACE自身が偶然の出会いからできた団体であることもありまして、ある意味何でもできることが活動理念にあります。だからこそ、多様性のある、カテゴリーにとらわれないアプローチができると思います。さらに、映像は色々な方法や視点からアプローチすることができます。成長につながる出会いは、人それぞれで違うと思いますので、私たちはその人に合ったアプローチができると考えています。そのため、一人一人の出会いをACEの活動から提供したいと思っています。

最後に、今後の展望として、映像制作を通じてたくさんの人を巻き込んでいく、つなぐことを中心に頑張っていきたいと思っています。先輩、後輩の縦のつながりから、先生方や職員の皆さん、色々な方に映像制作に携わっていただいて、映像を見ていただいて、色々な出会いやきっかけを、みんなに見せていきたいと思っています。このアカデミックコモンズは、もっともっとたくさん人の活用法があると思いますので、ACEも色々なイベントを開催していきたいと思っています。映像にありました、天井から下まであるホワイトボードに、学生が関学へのメッセージや

思いをいろいろ書いていくというイベントを ACE が開催しましたが、あれは、実を言いますと、どうやったらこのホワイトボードが、天井から下まであるということを伝えられるのかと考えたときに、実際に上から下まで埋めるしかないと思ひまして、それで学生の皆さんに書いていただきました。こういったイベントは、活用方法だけでなく、先程の With café の発表にもありましたように、色々な人の考えを知ったり、気づきがあったり、出会いがあります。このようなイベントをこれからも開催していきたいと思っています。学生自身でアカデミックコモンズをもっとこんなふうに使いたいという考え方も、使い方をみんなで一緒に考えることで、より学びを深いものにしていきたいと思っています。これからも、私たち ACE は偶然の出会いを大切に活動していきたいと思っています。今日、ここに聞きに来てくださった皆様との偶然の出会いからも何か新しいものにつながれば幸いです。御清聴ありがとうございました。